



桃井第一通信

No. 6 6 0

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和4年 1月号



人権について考える

校長 高橋 浩平

令和4年、新しい年が始まりました。新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。コロナの影響もあり、昨年に引き続き静かなお正月ではなかったかと思いますが、いかがでしたでしょうか。

さて、年末に、東京人権擁護委員協議会杉並地区委員会が発行している『人権作文集』を読みました。杉並の中学生が人権について書いた作文が載っています。人種差別や障害者差別、児童虐待や誹謗中傷といった話題が載っていました。また小学生の人権メッセージも掲載されています。

ぼくは最初に「人権」と言われて、あまりピンときませんでした。なぜかという、身近に差別などをしたりされたりする事がないからです。そのため人権が守られないことはないのではないか、と考えました。

という文で始まる小学生のこのメッセージは、このあと「アメリカでアジア系の人に対する差別が増えている」ことを知り、「暴力で物事を解決しようとする事はひどい」と思い、「自分の意見を伝え、相手の意見をしっかり聞いていきたい」と、話し合うことで分かり合うことの大切さを訴えていました。

「人権」ということを子供たちにもわかりやすい言葉で言えば「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」(『人権教育の指導方法等の在り方』について[第三次とりまとめ]平成20年3月)よりです。

私たち教員は毎年、東京都教育委員会から配布される『人権教育プログラム』をもとに人権教育に取り組んでいるわけですが、近ごろとみに思うのは「大人の人権感覚は大丈夫か」ということです。私たち教員は「人権尊重の理念を十分に理解することが大切である」(『人権教育プログラム』東京都教育委員会、令和3年3月)と言われていますが、教員も含め、大人社会で、あまりにも人権がおろそかになっていることが多いように思います。「自分さえよければ人のことはどうでもいい」という大人がいて、そういう大人に子供たちも影響されている、といったことはないでしょうか。

人権尊重の理念なしには、「多様性を認める」ことや「共生社会」や「インクルーシブ教育」もなかなか実現できないと感じます。こうしたことについて、子供たちとはもちろんですが、保護者の皆様や地域の皆様ともっともっと話し合っていけたら、と思っています。

1月の土曜授業は、学校公開を実施します。コロナ対応で、出席番号順に時間を割り振らせていただくことにしました。自由にご覧いただけないのは申し訳ないのですが、どうかご理解のほど、よろしくお願いいたします。

セーフティ教育について

桃一小では全学年で安全に関する教育を行っています。

3年生は、警視庁が作っている動画を用いながら、万引きについて学習しました。万引きはなぜやってはいけないのかについてワークシートに自分の考えを書き、少しの出来心でも万引きをしたら罪になるということを学級全体で話し合っていました。

4・5年生は、「ネットと安全に向き合うために」をテーマに事例やいろいろなケースを想定しながら話し合いました。4年生はメッセージトラブルやなりすましについて、5年生は架空請求、個人情報の特定について学習しました。便利なものでも、使い方を間違ってしまうと、大きなトラブルに発展してしまう、直接話すことと、SNS上でのやり取りとの違いを「警視庁 Web 教室」の動画を見ながら考えを深めていました。学習後には SNS の付き合い方について話し合う機会を設けました。

6年生は文部科学省の「SOS の出し方」を視聴し、悩みや相談事があったときの対処方法について考えました。自分だけで悩むのではなく、身近にいる信頼できる大人に相談しようということを学んでいきました。

これからも自分を大切にできる子を育てるために、学校全体で取り組んでいきたいと思います。

書き初め展

書き初めは、もともと正月二日の宮中行事として文字の上達を願って行われました。元日の朝早くに汲んだ「若水」を使って墨をすり、その年の恵方に向かって、おめでたい意味の句や詩歌を書いたのが始まりだそうです。

子供たちも、日本古来の伝統「書き初め」の練習を12月から始めました。一年の意気込みを、力強く美しい文字で書こうと頑張っています。

1月には、学校で清書したものを、教室前の廊下に展示いたします。

今年度は展示期間を19日（水）～22日（土）とさせていただき、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。なお、感染予防のため、短時間での鑑賞をお願いいたします。



日時：1月19日（水）～22日（土）

場所：各教室前の廊下

1年生の取り組み

生活科見学

昨年10月の生活科見学では、野川公園に行きました。初めての校外学習にドキドキわくわくしていた子供たちです。公園では、ネイチャーガイドの方々に来ていただき、自然を使った遊びをしました。折り紙の色と同じ色を探したり、ネイチャービンゴをしたりしました。蜂になりきる鬼ごっこでは、蜂に遭遇したらどうするか対処の仕方も教えていただきました。お弁当を食べたあとは、どんぐり拾いです。袋いっぱいを持ち帰ってきました。事後学習では、どんぐり工作をしました。壁飾りやフォトフレーム、ネイチャーガイドの方に教えていただいた「どんぐりカー」や「パソコン」など思い思いの作品を作りました。



算数の学習

1年生は、たし算やひき算、形の学習などを行っています。

2学期は繰り上がりや繰り下がりなど、難しい問題も解きました。それでも、子供たちは、ノートのマスに合わせながら数字を書いたり、図やブロックを使いながら解き方を説明したりしながら勉強しています。2学期末には、お家の方の協力をいただきながら家庭で、たし算・ひき算がんばりカードにも取り組みました。また、持参した箱を観察しながら、箱の特徴を調べる学習も行いました。特に、子供たちは筒の形に興味をもち、転がしたり、触ったりしながら学習していました。

「学問に王道なし」ということわざがあるように、速さを競うのではなく、一問ずつ地道に問題を解くようにしていきます。

